

24国民春闘・回答状況②

全労連・全国一般 WE 分会は 13,000 円

民間産別などから回答状況が報告されてきており、特徴などを紹介します。

全労連・全国一般の回答状況は、これからの職場も多いなかで、ウォーターエージェンシー（WE）分会は、13,000 円の回答を引き出しています。昨年は 3 次交渉の結果 12,500 円で妥結しており、初回回答でその額を上回っています。和興商会分会も 10,000 円の回答を引き出していますが、職場内の体制問題などで不誠実な対応があり、改めてストライキも構えて闘いの準備をしています。

JMITU の三和エレクトロニクス分会は、昨年を上回る 2,200 円上回る回答。初任給も高卒 5 千円・その他 7 千円のアップも引き出しています。アイエスビー支部もベアを含め昨年を上回る回答。初任給の引き上げや退職金掛金のアップ、再雇用者の賃金ベア 2 千円なども引き出しています。富田電機も昨年の妥結額を上回る回答を獲得しています。

公務関連の職場でも

化学一般では、東邦化学工業が昨年を上回りベアを含め 3.9%、11,067 円の回答を引き出し。オブ加盟の平塚に事業所がある高砂香料では、7.14%、20,702 円の回答を獲得しています。

ユーコープ労組では、子会社や関連会社での団体交渉が行われ、ベアの 1000 円上積みやパート・アルバイトの賃上げ実施期日の前倒しなどの前進も獲得して妥結する職場も出ています。

自交総連でも各支部で職場・組合員の現場課題なども含め、要求書を提出し実現をめざしてとりくみを進めています。

公務関連の職場でも春闘で前進を実現しています。県職労連公務公共一般労組の計量協会分会では、ベア 4000 円を含むほぼ満額の回答を獲得。55 歳で昇給を停止する措置についても、「4 月に遡って廃止する」との成果を実現しています。神奈川フィル分会でも、22～31 歳の基本賃金は要求以上の金額となり、それ以上の年代もある程度の引き上げが実現。また、燕尾服・ドレスのクリーニング代は要求通り 5 千円を年 2 回支給で妥結しています。

全労連・単産地方代表者会議

「これからが勝負」

春闘前半の闘いの教訓を共有し、後半の闘いについて意思統一する全労連・単産地方代表者会議が 3 月 28 日～29 日に開催されました。

基調報告で黒澤・全労連事務局長は、「25 年ぶりの高い賃上げ回答を引き出している」として、ストライキや統一行動を背景にしたとりくみの成果を強調。同時に、要求や物価高騰からして、まだまだ足りない水準であり「これからが勝負」として、「仲間を増やして変えら

れたと実感できる成功体験を、春闘後半で職場や地域に無数につくろう」と呼びかけました。

特別報告は3つ。JMITUの三木書記長は回答状況について、昨年同時期を2千円超上回り、有額回答の4割にあたる40支部が5桁を突破していることを紹介。特に、小零細職場でもストなどを配置して2万円を超える回答を獲得していることを強調。中小企業で賃上げを実現するために、人件費を含めた価格転嫁が課題であり、社会的世論が広がっているとし、「今年の春闘は不公正取引を是正させるチャンス」と訴え。是正のためにも労働組合の要求と運動が重要と強調しました。

1300人のスト実施でベア獲得

福祉保育労の澤村書記長は、2つの分会の春闘での具体的なとりくみを紹介。職場での丁寧な要求集約と議論が力となって、未組織労働者も巻き込みながら、大きな前進を実現していることを明らかにしました。

おおさかパルコープ労組の平田書記長は、22年春闘からの経過で、なかなか思ったようなベースアップが勝ちとれないなか、要求を実現するためのストライキを職場全体で議論し、執行部だけのストから1300人が参加するストに発展させ、5桁のベアを実現したとりくみを紹介しました。

2日間の討論では、様々な産別や地方組織から、賃上げ・最賃、公共を取り戻す課題など、この間の闘いが報告され交流しました。

神奈川労連などが3月28日、桜木町駅前で「自民党・裏金問題を許さないスタンディング・デモ」を行いました。国会質疑で裏金議員は「知らぬ存ぜぬ」を繰り返し、圧倒的多数の市民が怒り、世論調査では「納得できない」が8割を超えています。

岸田首相・自民党は、「党内処分」で幕引きしようとしています。市民は「誰が、いつから、何に使ったのか」を国会の証人喚問で明らかにすること、脱税に当たる重大犯罪として処置することを求めています。

宣伝は夕方、降雨の中でしたが、通行人がシール投票に応え「裏金は許せない」に全員が投票。参加者のリレースピーチに、「そのとおり」「がんばれ」などの反応もありました。

これまでの金権腐敗やモリ・カケ、桜を見る会、統一教会などなど、何一つ国民に説明せず、隠し、ゴマカシ続けてきた自民党を誰が信じますか。市民に重税を課しながら、自民党は組織的に裏金づくり続けてきた自民党に自浄能力はありません。市民の声で、「政治とカネ」の真相解明と金権腐敗政治を終わらせましょう。

自民党・裏金問題を許さないスタンディング・デモ

神奈川労連などが3月28日、桜木町駅前で「自民党・裏金問題を許さないスタンディング・デモ」を行いました。国会質疑で裏金議員は「知らぬ存ぜぬ」を繰り返し、圧倒的多数の市民が怒り、世論調査では「納得できない」が8割を超えています。

岸田首相・自民党は、「党内処分」で幕引きしようとしています。市民は「誰が、いつから、何に使ったのか」を国会の証人喚問で明らかにすること、脱税に当たる重大犯罪として処置することを求めています。

宣伝は夕方、降雨の中でしたが、通行人がシール投票に応え「裏金は許せない」に全員が投票。参加者のリレースピーチに、「そのとおり」「がんばれ」などの反応もありました。これまでの金権腐敗やモリ・カケ、桜を見る会、統一教会などなど、何一つ国民に説明せず、

隠し、ゴマカシ続けてきた自民党を誰が信じますか。市民に重税を課しながら、自民党は組織的に裏金づくり続けてきた自民党に自浄能力はありません。市民の声で、「政治とカネ」の真相解明と金権腐敗政治を終わらせましょう。

